

《Lesson 4》 比べる 2 つの形を合わせる

基本的に、比較級の文に登場する 2 つの比べるもの (A と B) は、形を合わせる必要があります。これは A と B が

1. 両方とも be 動詞の文なのか？
2. 両方とも一般動詞の文なのか？
3. A は助動詞の文だけど、B は一般動詞の文なのか？

といったものです。これは、A と B で「代名詞」が登場する際は、特に注意が必要です。

<例 1>

He is taller than I (am) .

(彼は私よりも背が高いです)

【解説】

主語の he が、“he is” と「主語 + be 動詞」の形なので、比べる I も “I am” と 「主語 + be 動詞」の形にする。ただし、than の後の be 動詞は省略できる。

1. He is taller than I(am). = ○
(be 動詞の省略は可。ただし省略すると不自然と捉えるネイティブもいる)
2. He is taller than me. = △
(会話ではよく使われるが文法上は△)
3. He is taller than I do. = ×

<例 2>

She studies harder than we (do) .

(彼女は私たちよりも熱心に勉強します)

【解説】

主語の“she”が“she studies”と「主語 + 一般動詞」の形なので、比べる“we”も“we do”と「主語 + 一般動詞」の形にする (形を合わせるといっても“we study”にはならないので注意)。ただし、“than”の後の“do”は省略できる。

1. She studies harder than we(do). = ○
(do の省略は可。ただし省略すると不自然と捉えるネイティブもいる)
2. She studies harder than us. = △
(会話ではよく使われるが文法上は△)
3. She studies harder than we are. = ×

<例3>

He can sing more beautifully than she (can) .

(彼は彼女よりも上手に歌うことができます)

【解説】

主語の **he** が“**he can**”と「主語＋助動詞」の形なので、比べる **she** も“**she can**”と「主語＋助動詞」の形にする。“**than**”の後の助動詞は省略できる。

1. **He can sing more beautifully than she (can).** = ○

(助動詞の省略は可。ただし省略すると不自然と捉えるネイティブもいる)

2. **He can sing more beautifully than her.** = △

(会話ではよく使われるが文法上は△)

3. **He can sing more beautifully than she is.** = ×

ポイント！比べる2つのものが「何」と「何」なのかに注意！

例えば「私の家はタロウの家よりも大きいです」という比較級の文で、比べているのは「私の家」と「タロウの家」です。これが「私の家」と「タロウ（人）」にならないように注意する必要があります。

1. **My house is bigger than Taro's house.** = ○

(比べるもの：「私の家」と「タロウの家」)

2. **My house is bigger than Taro's.** = ○

(比べるもの：「私の家」と「タロウのもの＝所有代名詞」とすることは可)

3. **My house is bigger than Taro.** = ×

(比べるもの：「私の家」と「タロウ（本人）」なので×)

また、以下の例のように比べる2つのものが異なる場合もあります。例えば「私は彼よりも熱心に勉強しないとイケません」という比較級の文ですが、ポイントは「いったい何を意図しているのか？」というところです。

1. **I must study harder than he does.** (私は彼よりも熱心に勉強しないとイケません)

(比べるもの：「私が勉強しないとイケない量」と「彼が日頃から勉強している量」)

<補足説明> 「彼がいつも勉強している量よりも、私はもっと勉強しないとイケない」という意味

2. **I must study harder than he must.** (私は彼よりも熱心に勉強しないとイケません)

(比べるもの：「私が勉強しないとイケない量」と「彼が勉強しないとイケない量」)

<補足説明> 「彼も勉強しないとイケないけど、私はもっと勉強しないとイケない」という意味

ポイント！ He likes golf better than her. は、OK？

「比べるものに目的格をおくのは、会話以外では使われないのか？」というところでもありません。なぜなら、以下の例のように **than** の後が「主語などとそろえる形」と「目的格を入れる形」とでは、文の意味が変わることがあるからです。理解するためのポイントは、「何」と「何」を比べているのかを把握することです。

1. He likes golf better than she does. (彼の方が、彼女よりもゴルフが好きです)
(比べているのは「彼」と「彼女」。彼の方が彼女よりも頻繁にゴルフに行くなど)
2. He likes golf better than her. (彼は、ゴルフの方が彼女より好きです)
(比べているのは「ゴルフ」と「彼女」。彼女とデートに行くよりゴルフに行く機会の方が多いなど)

ポイント！ 代名詞以外の場合は、比べる2つをそろえる必要はありません

基本的に代名詞以外の場合は、比べる2つのものをそろえる必要はありません。なぜなら、以下のように書かないでもすでに、**be** 動詞、一般動詞、助動詞を省略した形になっているからです。しかし「省略されている」ということを覚えておいても損はないでしょう。

1. He is taller than his father (is).
2. She studies harder than Yumiko (does).
3. He can sing more beautifully than Makoto (can)